



CubeSoft
Concurrent Universal Bright Engine



Cube PDF ユーザーズマニュアル

2010.7.23 第2版

1. はじめに

CubePDF をインストールするには以下の環境が必要です。

・利用OS: Microsoft Windows XP、Windows Vista、Windows 7

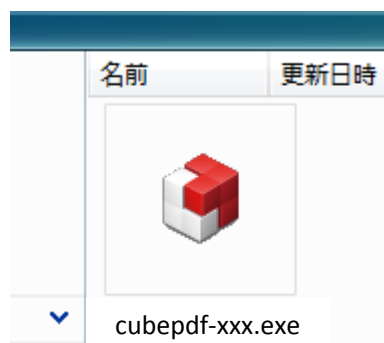
・ハードディスク: 25MB 以上の容量

(※変換するファイルサイズおよびファイル形式により、追加のハードディスク容量が必要になる場合があります。)

CubePDFのインストール

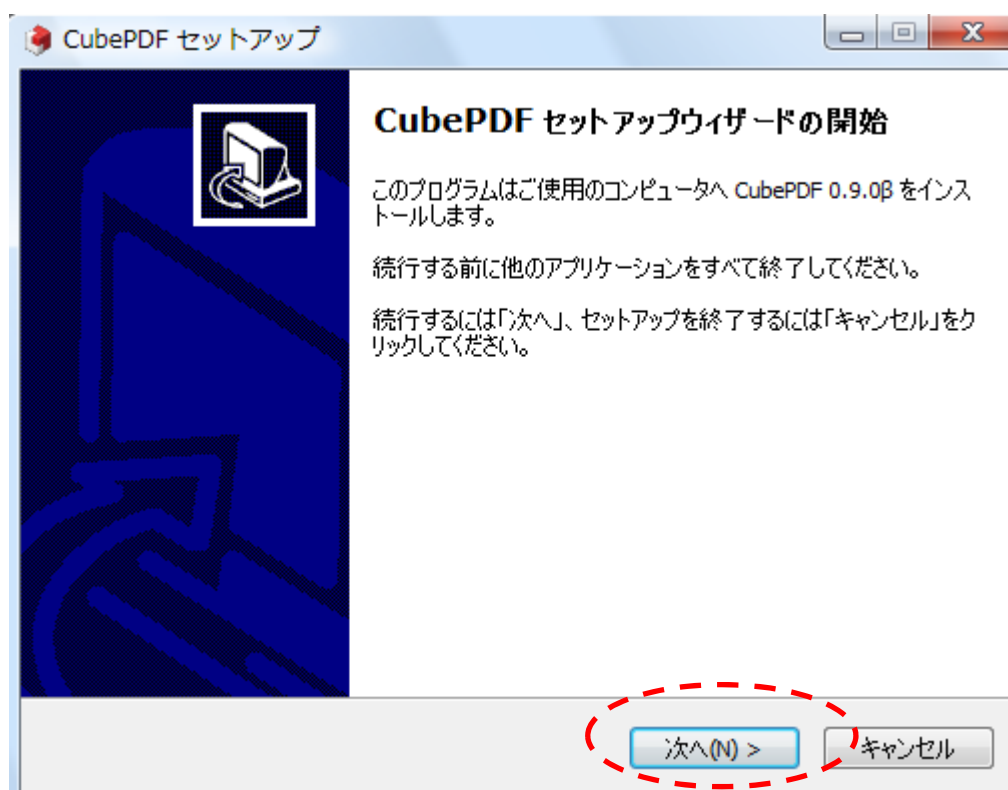
CubePDF をインストールするには

1. ダウンロードしたフォルダにある「cubepdf-xxx.exe」をダブルクリックします(xxxにはバージョン番号が入ります)。

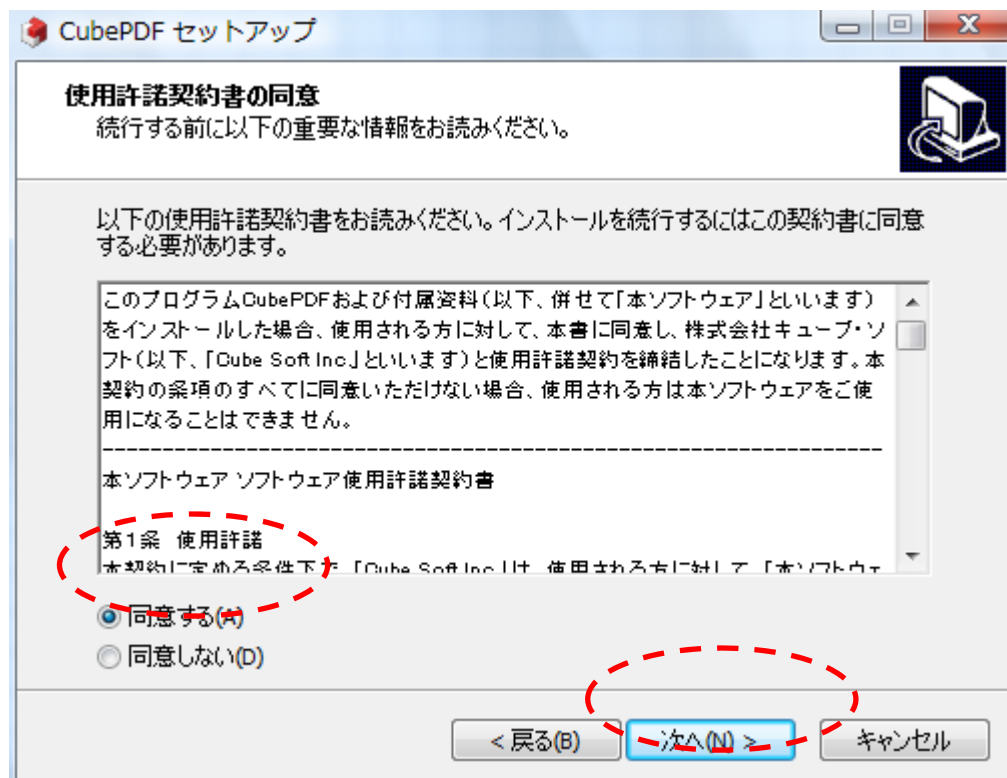


2. 画面に従いインストールを進めていきます。

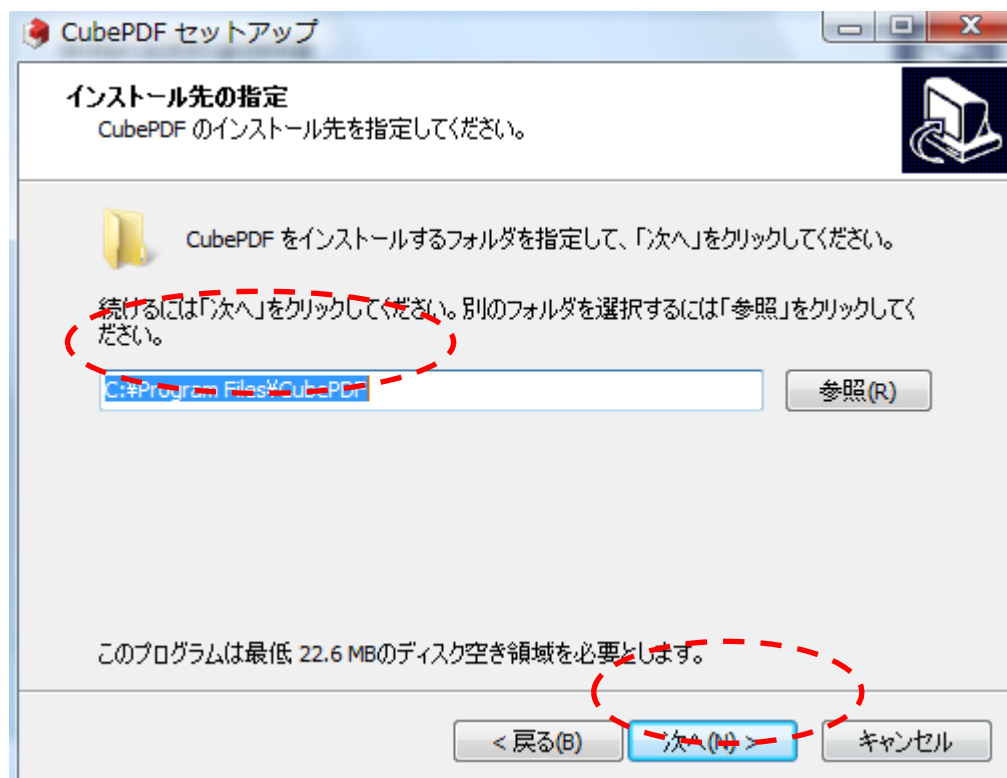
「次へ」をクリック



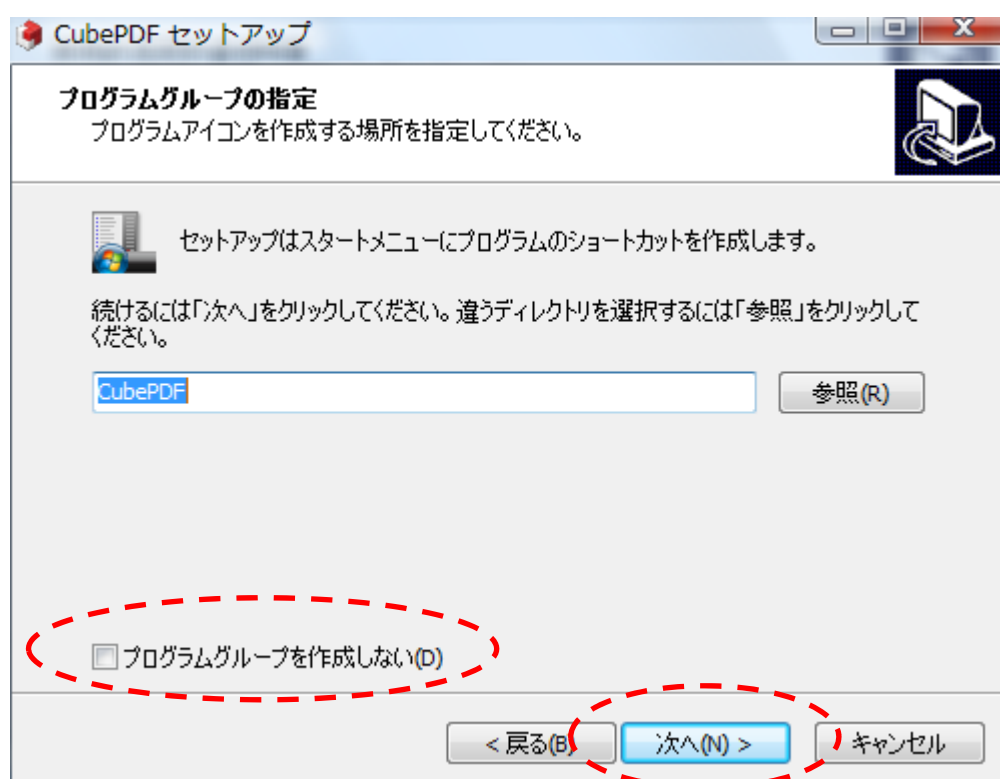
「同意する」にチェックを入れ、「次へ」をクリック。



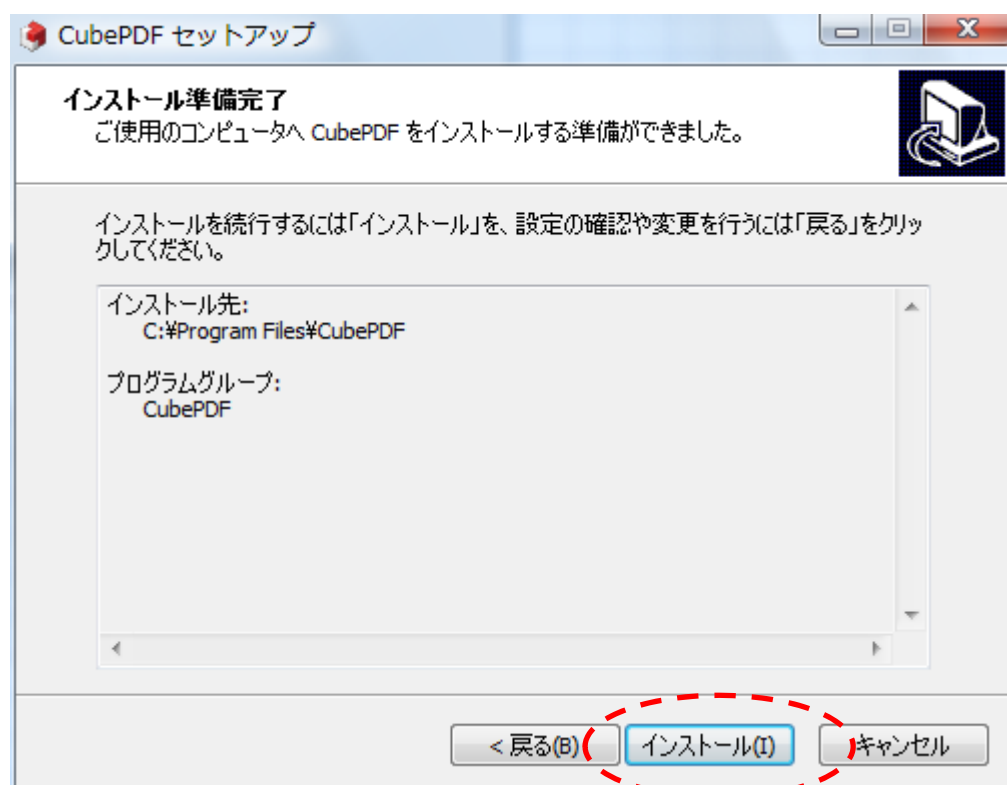
インストール先を確認し、「次へ」をクリック。



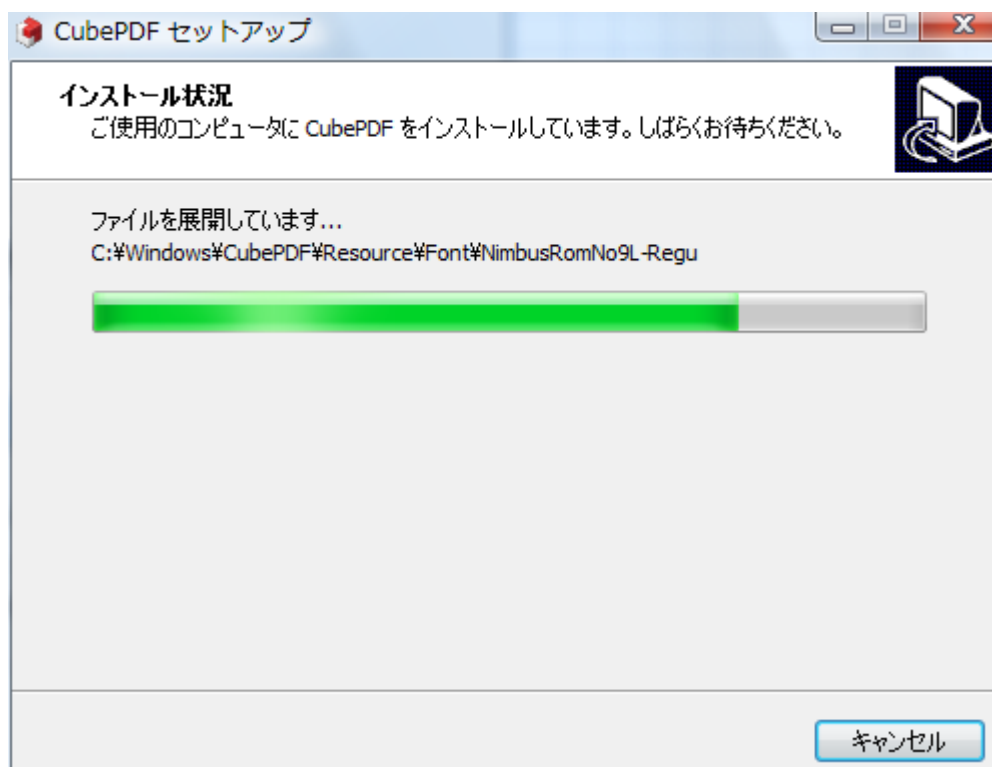
スタートメニューにショートカットを作成する場合、「プログラムグループを作成しない」にチェックを入れずにそのまま「次へ」をクリック。
スタートメニューにショートカットを作成しない場合、「プログラムグループを作成しない」にチェックを入れて「次へ」をクリック。



「インストール」をクリック。



インストールには通常は数秒で終わりますが、1, 2分かかる場合もあります。



「完了」をクリック。これでインストールは完了です。



※デスクトップにアイコンは表示されませんのでご注意ください。

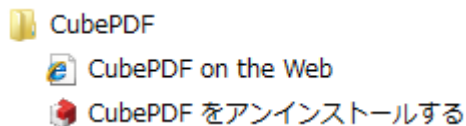
「2. PDFの作成」の項で詳述しますが、本製品は各アプリケーションソフトの「印刷ボタン」をクリックした際に起動するソフトとなっています。

CubePDFのアンインストール

アンインストールには、2通りの方法があります。

1. スタートメニューからアンインストールする方法

「スタートメニュー」内の「CubePDF」→「CubePDFをアンインストールする」をクリック

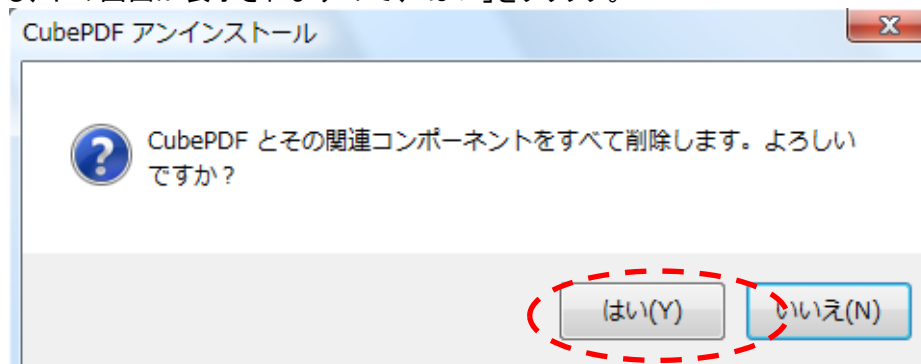


2. コントロールパネルよりアンインストールする方法

「コントロールパネル」内より削除するの「プログラム」→「プログラムのアンインストール」(Windows Vistaの場合)



どちらの場合も、下の画面が表示されますので、「はい」をクリック。



そのまま削除されますので、これにてアンインストールは終了です。

2. PDFの作成

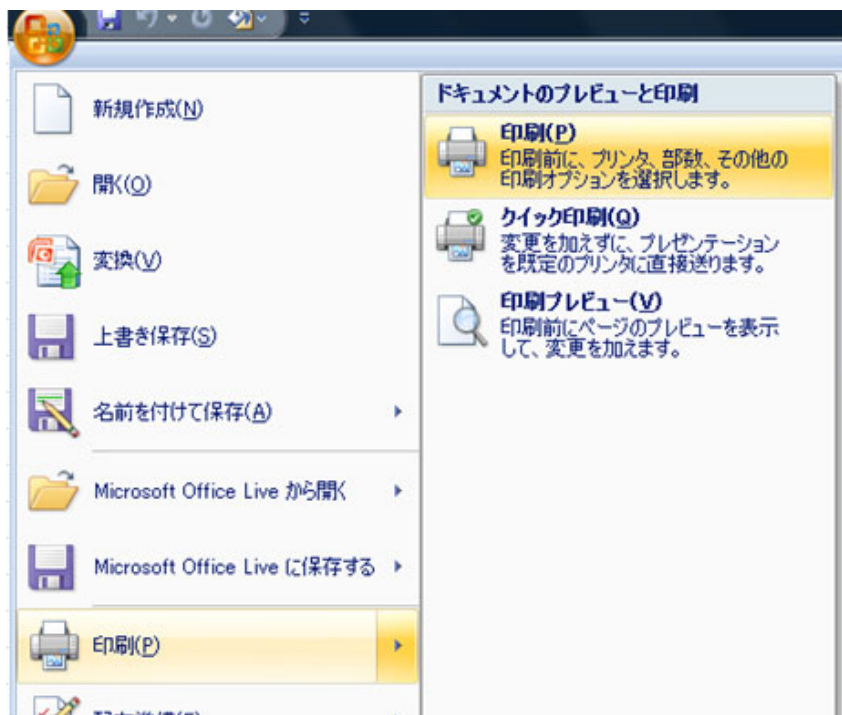
CubePDF は、PDF プリンタとしてインストールされます。

そのためCubePDF を使用してご利用のコンピュータのどのプログラムからでも文書を PDF へ変換することができます。

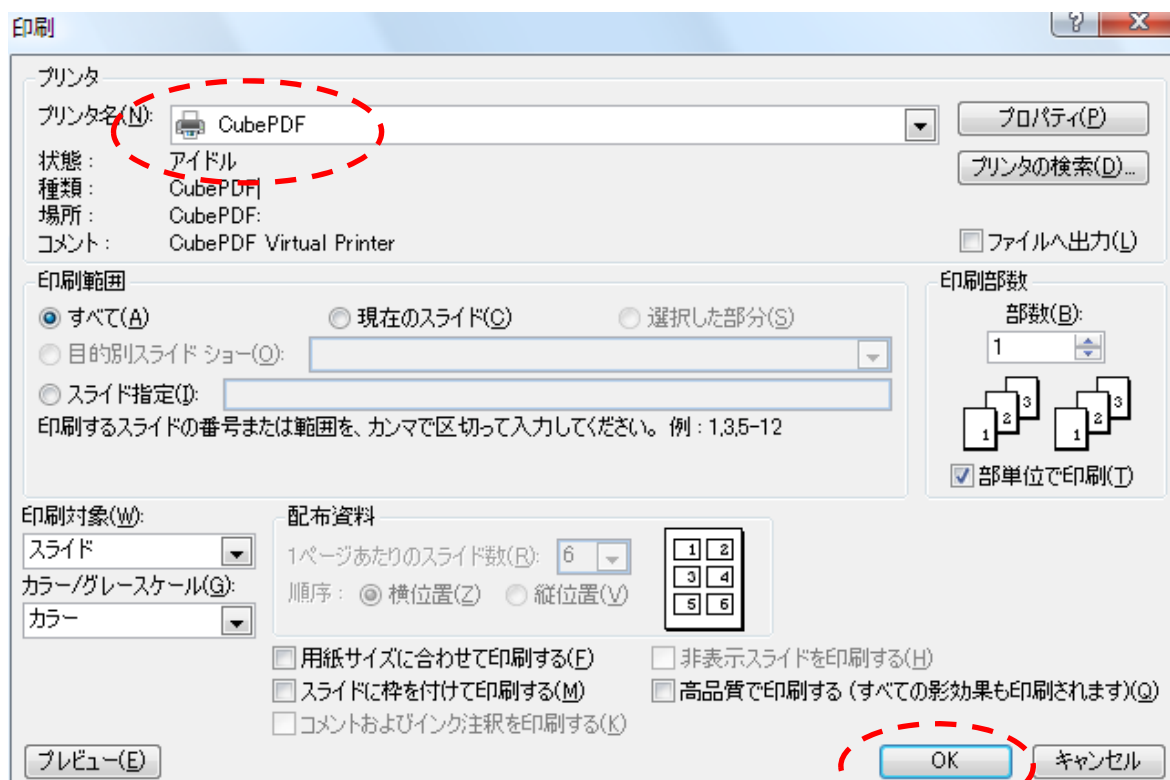
PDFの作成

1. 文書のプログラムで「印刷」を選択します。

(図はPowerPoint2007の例)



2. 利用できるプリンタの一覧から「CubePDF」プリンタを選択し、[OK] ボタンをクリックします。



3. 新しいウィンドウにて次の画面が表示されます。

「出力ファイル名」欄で保存箇所を確認し、「変換」をクリック。

(保存箇所を変更する場合は、「出力ファイル名」の右欄にある「…」ボタンをクリックして変更してください。)



該当箇所に保存されると同時に、作成されたPDFファイルが開きます。

※PDFファイル生成時の形態

既存のPDFファイルに結合することができます。

「上書き」で変換すると指定したファイル名でPDFファイルを生成します。



「先頭に結合」で変換すると指定したPDFファイルの先頭に追加したPDFファイルが生成します。



「末尾に結合」で変換すると指定したPDFファイルの末尾に追加したPDFファイルが生成します。

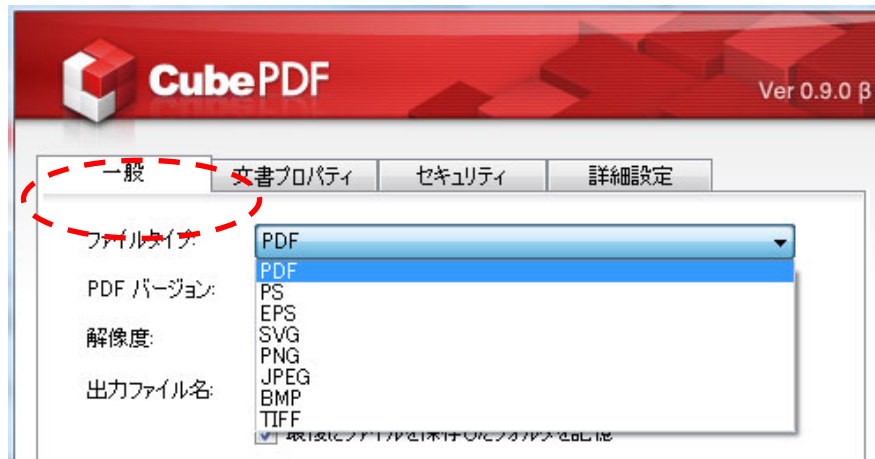


基本的なPDFの作成の仕方は以上です。
詳細設定については、次項にて解説していきます。

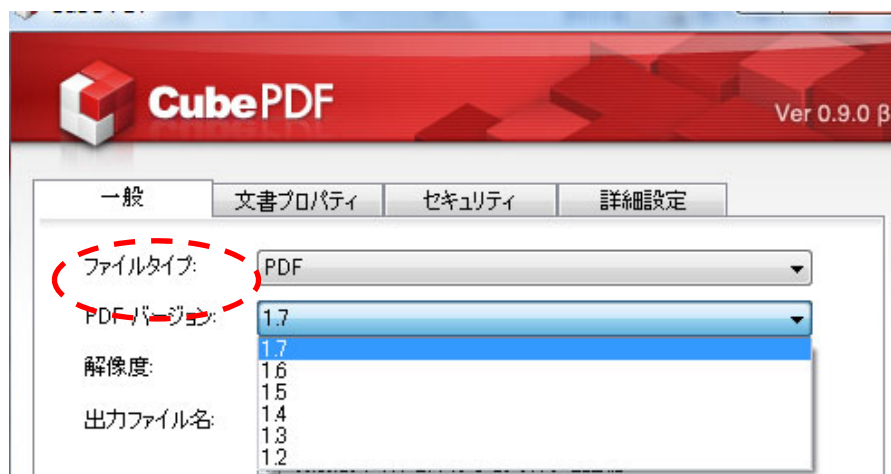
3. CubePDFのオプション設定

3-1. 一般

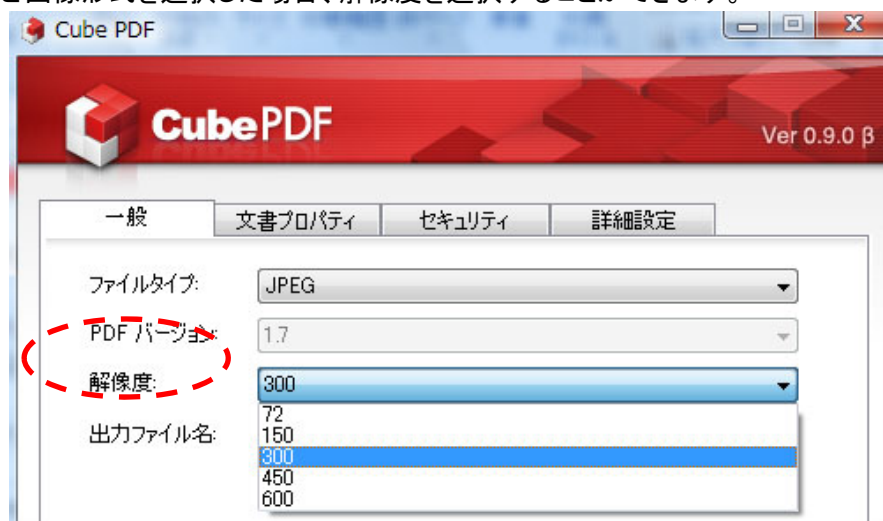
ファイルタイプから、PDF形式以外にも各種形式に変換することが可能です。
プルダウンで形式を選んでください。



PDF形式の場合、PDFのバージョンを選択することができます。
現在、最新はver.1.7なので、1.7でご利用されることを推奨します。



JPEGなど画像形式を選択した場合、解像度を選択することができます。

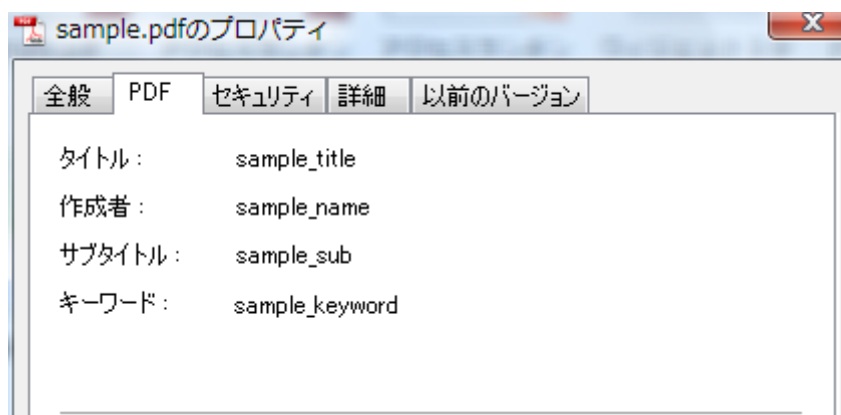


3-2. 文書プロパティ

タイトルや作成者などの情報を登録することができます。



登録した情報は、作成したPDFのプロパティから確認することができます。



3-3. セキュリティ

作成した文書にパスワードをかけることができます。

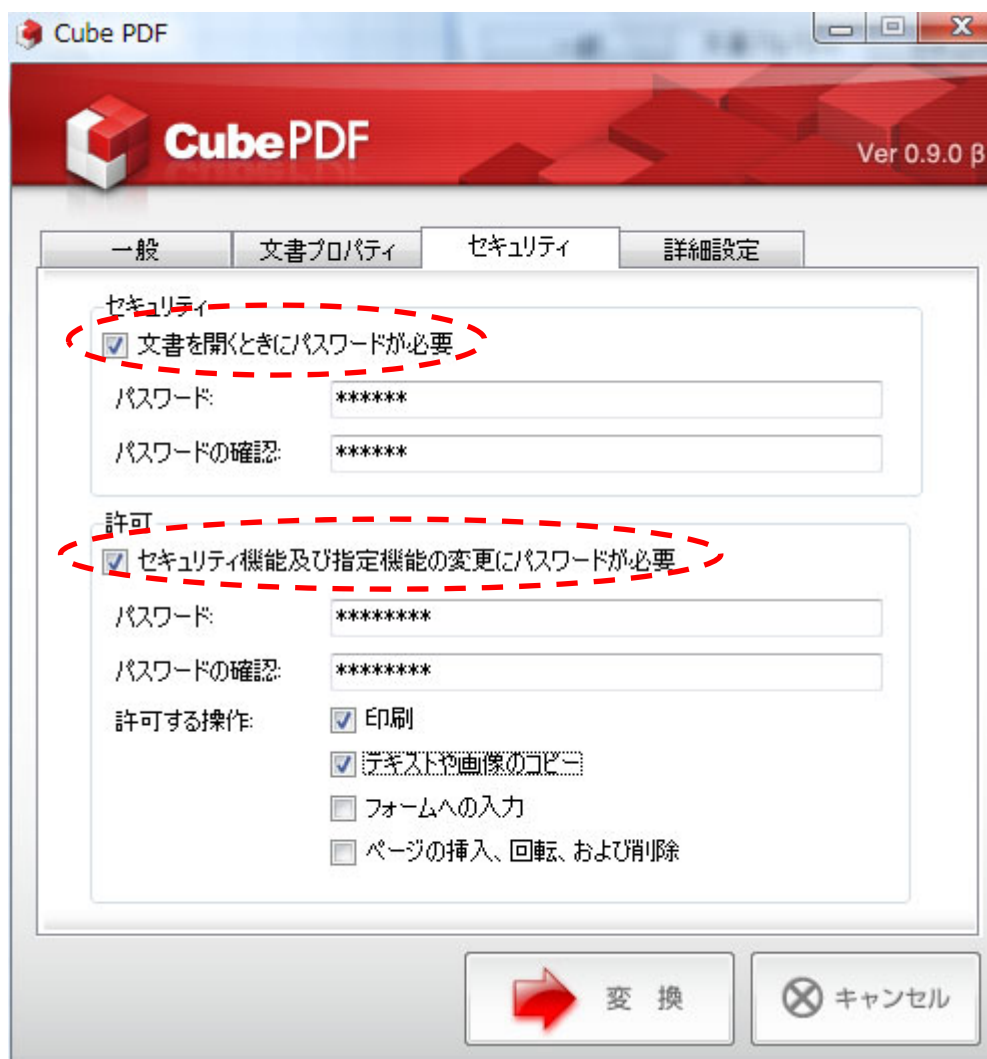
文書を開く際にパスワードをかける場合は、「文書を開くときにパスワードが必要」にチェック。

「パスワード」及び「パスワードの確認」欄に、同一のパスワードを入力してください。

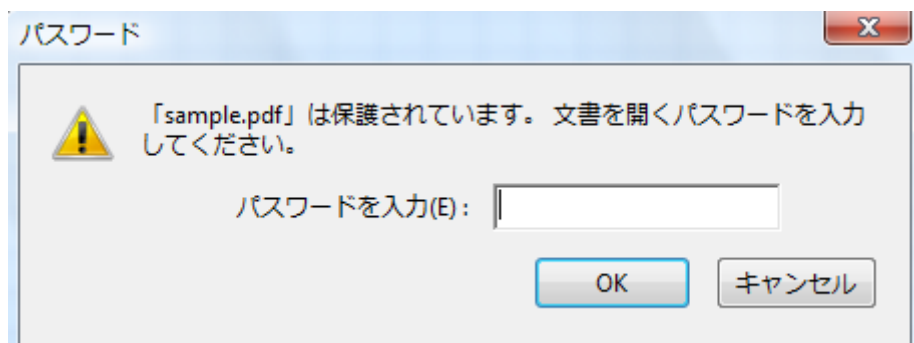
また、PDF文書の印刷やコピー、回転などの操作を行えるかどうか、パスワードで許可を与えることができます。

「セキュリティ機能及び指定機能の変更にパスワードが必要」にチェック。

「パスワード」及び「パスワードの確認」欄に、同一のパスワードを入力し、許可する操作を選択してください。



パスワードがかかっている操作を実行しようとする、
このような画面が出、パスワードの入力を求められます。



3-4. 詳細設定

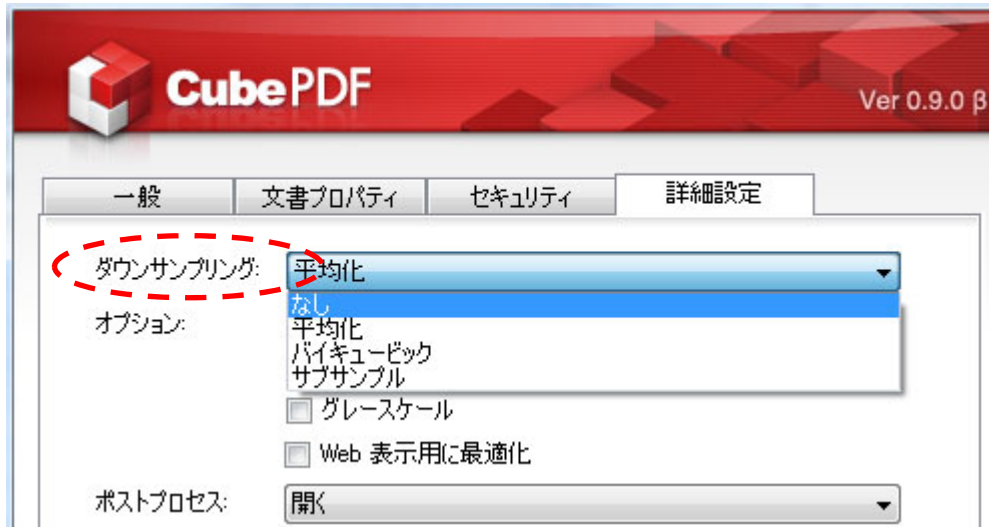
ダウンサンプリング(画像内のピクセル数を減らすことで容量を軽くします)を設定することができます。

平均化…作成した文書のピクセルが平均化され、文書全体を指定解像度の平均ピクセルカラーに置き換えます。

バイキュービック…加重平均を使用してピクセルカラーを決定します。この方式では、通常ダウンサンプリングの単純な平均法よりも滑らかになります。反面、バイキュービック法は最も時間がかかります。

サブサンプル…文書全体の中心にあるピクセルが選択され、全体が選択されたピクセルカラーに置き換えられます。

サブサンプル法は処理時間が大幅に短縮されますが、滑らかさは劣ります。



オプション



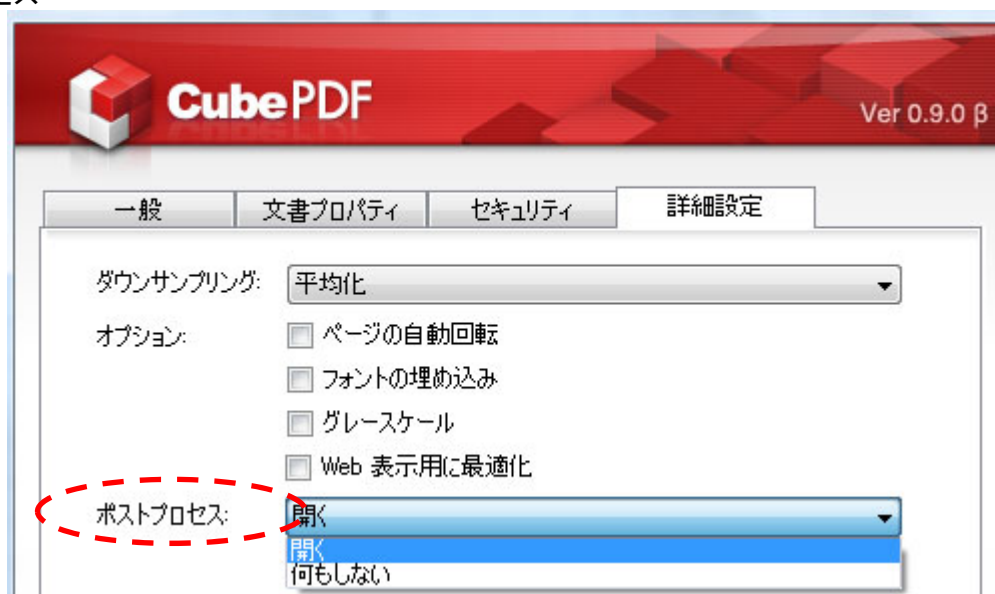
ページの自動回転:縦横の比率から、画面に表示しやすいよう最適な方向に自動で回転します。

フォントの埋め込み:フォントの埋め込みを行うと、文章で使用しているフォントがない環境でも表示できるPDFを作成することができます。しかし、ファイルサイズが大きくなります。

グレースケール:白黒でPDFを作成します。白黒印刷される際に便利です。

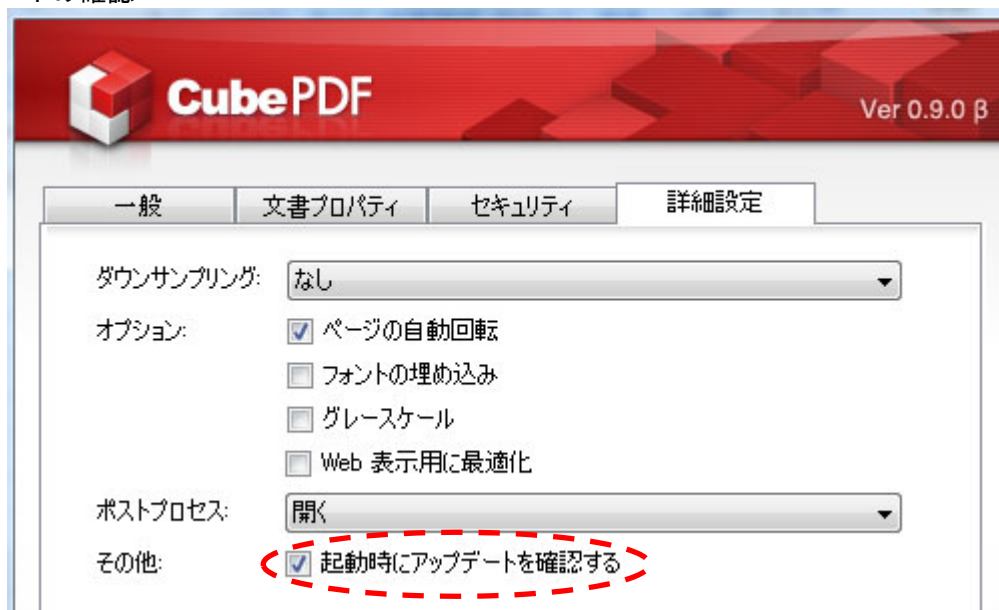
Web表示用に最適化:PDFを作成した際に、WEB表示に最適な縮尺を判断して表示します。

ポストプロセス



ポストプロセスは、初期設定では「開く」になっています。
「何もしない」を選択すると、PDFファイルを作成した際に、作成したPDFが開きません。
ファイルとして保存されるのみとなります。

アップデートの確認

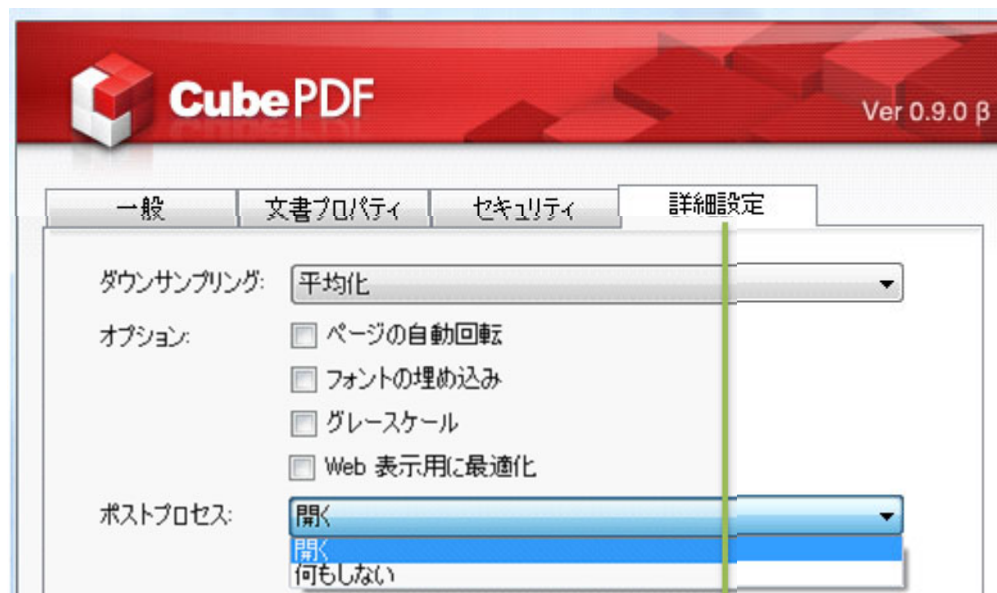


「起動時にアップデートを確認する」にチェックを入れると、CubePDFがバージョンアップされた際に更新案内が表示されます。チェックされることを推奨します。

4. CubePDFの拡張機能(アドバンスモード)

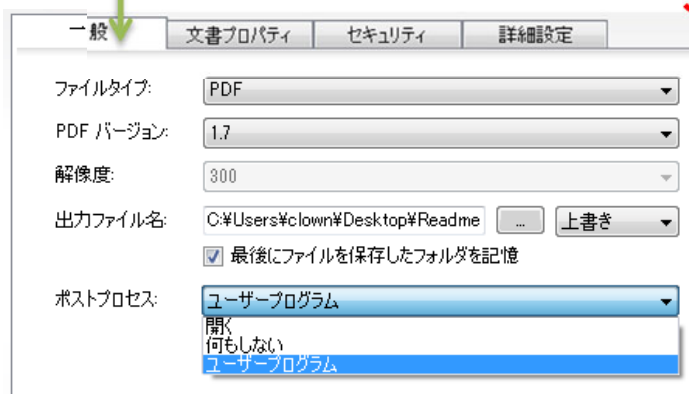
4-1. 他のアプリケーションとの連携

ポストプロセスは、初期設定では詳細設定タブにあります。
「開く」「何もしない」のみ選択することができます。

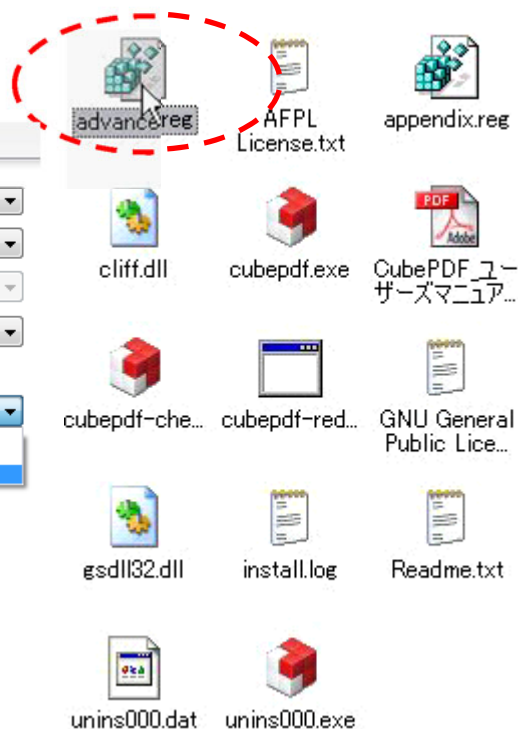


4-2. アドバンスモードにするとUIが拡張されます

advancenregをダブルクリックすると、いままで詳細タブにあったポストプロセスが一般タブに移動します。

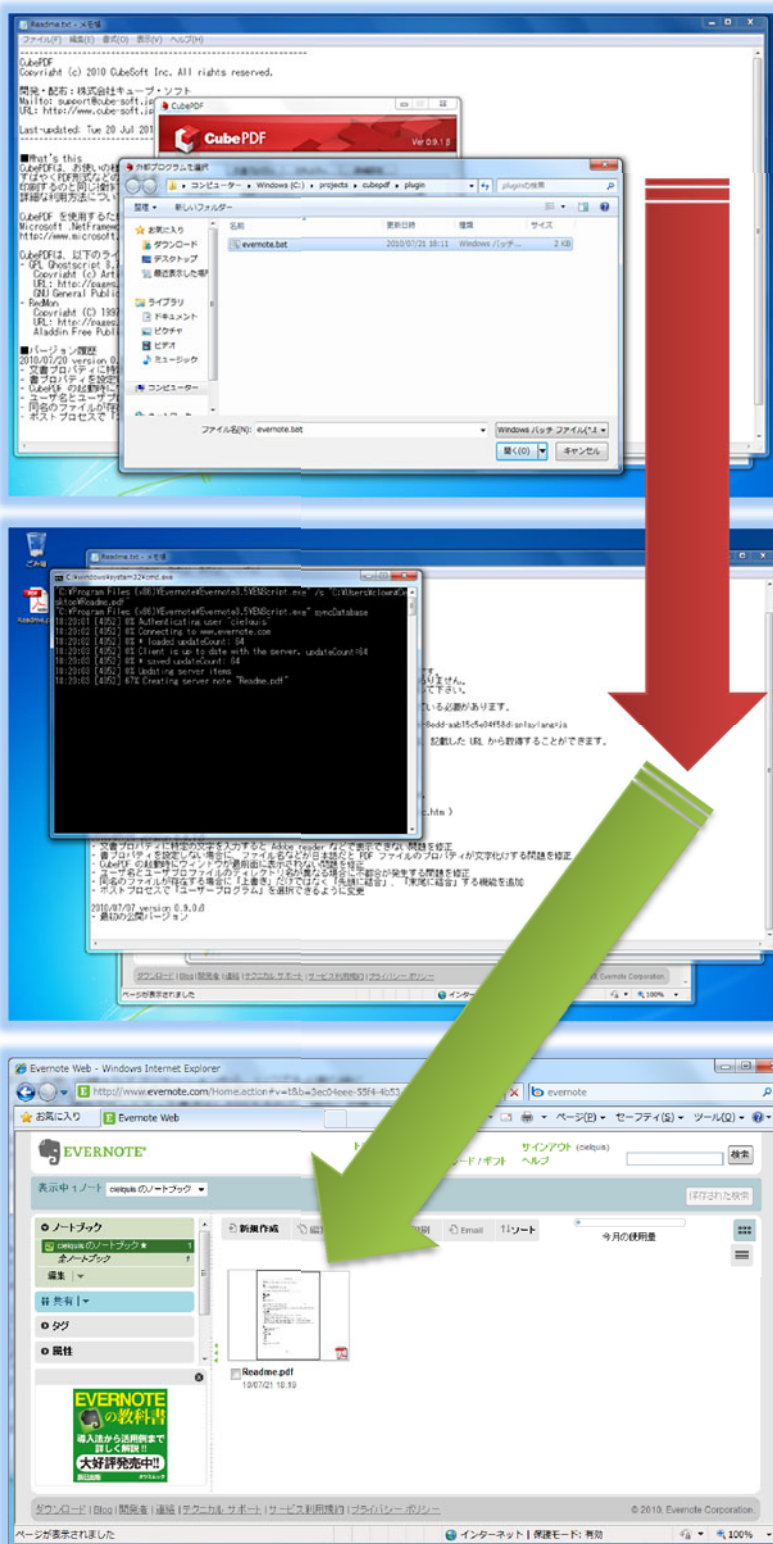


「ユーザープログラム」が追加されています。
これを利用することにより連携することが可能です。



4-3. 例 EVERNOTEとの連携

アドバンスモードでEVERNOTEと連携させた場合です。



連携するには bat ファイルを使用します。

連携用バッチファイル説明については
以下を参考に。



<http://www.cube-soft.jp/cubepdf/faq.php?no=4>

Evernote for Windows を起動せずに
アップロードまでスムーズに。

■本ソフトに関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

site: <http://www.cube-soft.jp>

email : support@cube-soft.jp